

説経節

―情念の語り物―

主催 神戸女子大学古典芸能研究センター「研究プロジェクト」
「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」
問合せ先 神戸女子大学古典芸能研究センター

日時 二〇一五年一月二八日(土)

場所 神戸女子大学教育センター

五階特別講義室

【実演と講演】

絵解きと説教

沙加戸 弘 (大谷大学名誉教授)

【講演】

語り物としての説経―その歴史をたどりながら

阪口 弘之 (古典芸能研究センター特別客員研究員・
神戸女子大学名誉教授)

【研究発表】

説経の基層―唱導説話からのアプローチ

小林 健二 (古典芸能研究センター客員研究員・
国文学研究資料館教授)

絵画化された説経―絵巻、奈良絵本のさまざま

川崎 剛志 (古典芸能研究センター客員研究員・
就実大学人文科学部教授)

説教者と身分的周縁

塚田 孝 (大阪市立大学大学院文学研究科教授)

諸国の説経芝居

和田 修 (早稲田大学文学部准教授)

説経は煙滅して久しい。しかし、これほど日本人の心を捉えた語り物も珍しい。安寿とつし王、苅萱道心と石堂丸、しんとく丸と乙姫、誰もが一度は耳にした哀しくなつかしい物語である。街道筋を往還した語り物は、涙を滲ませて文字化され、絵巻や奈良絵本までもが生み出された。人智を超えるたくましい想像力が、日本人の情念を揺り動かした。説経研究の第一人者たちが、最新の成果を披瀝して、今後の研究動向をも見定めようとする企画である。

入場無料・申込不要



JR 三ノ宮、阪急・阪神神戸三宮、神戸市営地下鉄三宮駅より北へ徒歩約15分

〒650-0004 神戸市中央区中山手通2丁目23-1
TEL (078) 231-1061 E-mail geinou@suma.kobe-wu.ac.jp